



## 今年度も小中一貫教育を推進しています

校長 中山 徹

今年度も、豊玉第二小学校、豊玉東小学校、そして本校の3校で施設分離型の小中一貫教育を推進しています。今年度の、ここまでの主な取組について概要をお伝えしていきます。

### 1 児童生徒の取組

#### (1) 「小中合同あいさつ運動」

小学校の代表委員会と本校生徒会の交流を大きな目的として、今年度、新たな取組として始めたものです。

5月以降、小学生登校日の朝、中学校の生徒会役員、生活美化委員会と小学校の代表委員会児童と一緒に本校の正門で、登校する児童生徒にあいさつを行ってきています。あいさつの時間が終わった後には、小学生と中学生で感想を述べ合い、さらに交流を深めています。



#### (2) 「乗り入れ授業」

本校では小学生（5年生、6年生）を対象とした「乗り入れ授業」を行っています。ここまで、美術を除くすべての教科で、中学校の教員による授業を12日間実施しました。特に国語の授業では、今年度も小学生と中学生がともに学び合う交流授業を実施しました。



#### (3) 「中学校行事等での小中交流」



本校の運動会で、今年度も「小中交流競技」として綱引きを実施しました。また、本校文化発表会前日に、小学校二校の6年生が参加して「小中合唱交流会」を実施し、お互いの合唱を披露し鑑賞し合いました。また、小学生は本校校内を巡り、展示作品も鑑賞しました。

総合的な学習の時間には、小学生と中学生が合同で「外国人留学生との交流会」に臨みました。

#### (4)「小小交流授業」

今年度は豊玉第二小と豊玉東小の5、6年生が、学年ごとに合同で道徳授業を行いました。授業の中で考えを述べ合いながら、お互いを理解し合う重要な機会となりました。

## 2 教職員の連携等の取組

#### (1)「小中合同研修会」

これまで3回実施しました。4月には教科部会を行い、今年度の乗り入れ授業の内容等を検討・確認しました。3つの学校のすべての教員がそれぞれ教科部会に所属し、話し合いに参加しました。6月は、生活指導に関する意見交換を小グループに分かれて行いました。11月には、小学生登校日の様子について全員で理解を深めるとともに、児童生徒対象アンケートの結果について協議しました。

#### (2)「三校研究推進委員会」

これまで6回実施しました。「乗り入れ授業」「交流活動」などの成果・課題などを、そのつど確認しながら、見通しをもった小中連携の活動の在り方を模索しています。

#### (3)「授業における連携」

乗り入れ授業実施にあたっては、小学校と中学校の該当する教員同士で事前に内容を検討・確認しあいました。また、今年度は小小連携授業を実施したことにより、小学校の教員同士の連携を深める機会にもなったと思います。

## 3 ここまでの成果

#### ○「国語の交流授業の充実」

国語の授業では、中学生がリーダーとなって、小グループでの話し合い活動を行いました。中学生が小学生から意見を聞いたり、分かりやすく教えたりして、「お兄さん」「お姉さん」のような役割となって学習を進めました。授業後、小学生からは「安心感を抱いたこと」や「中学校への期待が高まったこと」など、肯定的な意見が多く出ました。



中学生からは「相手に(自分の考えを)伝えるのは難しかった。しかし、それによって自分自身を振り返ることができた。」「人に何かを教えることの難しさを感じた。でも、やりがいも感じた。」「意見交流は楽しい。」というような感想も出ています。収穫が大きかったことがわかります。

#### ○「部活動体験会への参加児童の増加」

昨年度の部活動体験の参加人数が少なかったことから、今年度は「積極的に参加するように」と小学校で呼びかけてもらいました。その結果、ほとんどの5、6年生が参加してくれました。「とても楽しかった。」「もっとやりたかった。」などの感想が多く、児童にとって貴重な時間となったと思います。

## ○「アンケート結果より分かったこと」

小学生への事後アンケートの結果を見ると、98%の児童が、中学校での授業に楽しさを感じています。また、中学校教員に期待を抱くような意見も多くありました。中学生との交流に満足している児童も多く、更なる交流の充実を求める声もあります。中学生や中学校にとっても親しみを感じているようです。

中学生への事後アンケートの結果を見ると、「小学生と一緒に学習した国語の授業は楽しかったですか。」という質問に、84%の生徒が「楽しかった、まあまあ楽しかった。」と答えています。また、「小学生が中学校の校舎に来ることについて、どう思いますか。」という質問に対しては、「小学校時代を思い出して懐かしい。」「小学生のお手本になるよう、しっかりしなければと思う。」「せっかく小学生がくるなら、交流したいと思う。」「自分も小学生の時体験したから、入学後もすぐ中学校に慣れることができた。」などと、小中一貫教育プログラムに対し、好感を抱いている生徒が多くいます。



## 4 次年度へ向けて



これまでの取組に一定の成果が出ていることは、事後のアンケートからも、十分見て取れます。

小学生と中学生の交流活動の充実に向けて、配慮事項なども視野に入れながら、実現可能な具体案を模索していきます。

なお、交流授業の充実に向けては、中学生が「教える立場」となりやすいことから、保健体育の授業における実施を検討していきたいと考えています。

引き続き、本校は練馬区小中一貫教育実践校としての取組を進めてまいります。保護者の皆様、地域の皆様のご理解、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

## 中学校教育70周年！

～区内中学校の周年行事に出席して～

今年度は、昭和22年に新しい制度で開校した中学校が70周年の節目を迎えた年です。

これまで、近隣の旭丘中学校、豊玉中学校、中村中学校など、区内11の中学校がそれぞれ「開校70周年記念式典」を行いました。

私も、いくつかの学校の式典に出席いたしましたが、いずれも立派な式典でした。

学校を愛する地域の方々の想いがひしひしと伝わってくるとともに、生徒たちの式典に参加する態度、舞台での発表態度が素晴らしく、感動しました。

本校、豊玉第二中学校は、5年後の2022年に、開校60周年を迎えることとなります。その時には、改めまして、学校へのご支援をよろしくお願いいたします。

(校長 中山 徹)